はじめに

埼玉地区『障がいを負う人々と共に生きる教会を目指す懇談会』（アーモンドの会）が発足して十年を経ました。この間、十回の懇談会を開催してきましたが、その全てについて十分な記録をとってこなかったうらみもあり、十周年を機に、〝いいだしべえ〟の一人として、また委員の一人である中川義宣さんから強く求められたこともあって、すこしまとめをつけたいと思います。だれかに読ませようというより、当初から関係した者の思いとして、また一つの記録として残しておきたいと思います。

二〇〇四年九月二十日に、『中国地方「障がい者と教会」問題を考える集い』に招かれ、アーモンドの会について発題報告を求められた経緯もあり、その講演を下敷きにして、一つの視点からのまとめとしたいと思います。当初原稿の口語文体でしたので、そのままにしました。